

秋山眞之 あきやま まさゆき 海軍軍人。慶應四年（二月）二十日伊豫國生肌、大正七年（二月）四日没（二八六一一九八）。海軍兵學校卒。日露戦争時、先任参謀として日本海海戦の作戰を立案。海軍大學校教官、軍務局長、第一水雷戦隊司令官等歴任。大正六年中將。

編著書 『英文尺牘文例・第二版』（ホー入原編・編、再版・明治三十二年十一月五日水交社）、『長江航泊心得』（編、明治四十二年二月

三十一日水交社）『水交社記事』第七卷第壹編附録）、『軍談』（村上

貞一編、大正八年六月一日實業之日本社）等。文献に、秋山眞之會編

『提督秋山眞之』（昭和九年）二月五日岩波書店）、鶴村松一著『秋山

好古・眞之將軍』（昭和五十二年十一月二十五日愛媛・松山郷土史文

学研究會）、生出寿他『秋山眞之のすべて』（昭和六十一年四月二十

五日新人物往来社）等。

